

314 中央大学の明治天皇奉悼式並びに靈輦奉送

〔『法学新報』第22卷9(257)号 大正元年10月1日〕

○中央大学の明治天皇奉悼式並靈輦奉送 去月十三日 明治天皇大葬当日午前十時より中央大学に於ては大講堂に於て奉悼式を挙行せり定刻学生及び理事伊藤悌治、岡野敬次郎幹事佐藤正之其他講師並に職員一同の著席するや学長奥田義人氏は肅然として登壇左記の奉悼文を朗読し了て一同最敬礼を行ひて退場したり

恭シク惟ミルニ

明治天皇曠世ノ英資ヲ以テ

祖宗ノ宏謨ヲ祖述シ無窮ノ

皇基ヲ確立シ憲法茲ニ就リ制度茲ニ新ナリ

内ハ以テ国本ヲ養ヒ外ハ以テ皇威ヲ耀ス明ハ日月ト同シク

高ク徳ハ天地ト共ニ齊シク大ナリ一朝弗予ノ報ヲ伝ヘ上下

惶恐神明ニ禱リテ敬虔誠ヲ致シ一旦登遐ノ哀ヲ告ケテ中外

悲傷シ至仁ヲ慕ヒテ謹慎喪ヲ服ス本日大喪儀ヲ行ハセラル

ルニ当リ謹ミテ敬悼ノ意ヲ表シ奉ル

大正元年九月十三日

中央大学長兼高等予備校長

正四位勲二等法学博士 奥田義人

午後二時より中央大学学生は大学部より予科、高等予備校、英

語專修科に至るまで出席校庭に於て整列各科各級孰れも部署を定め隊伍を組みて校旗を先きに講師職員殿後に著き神田橋を入り桔梗門側新道路を経て予て文部省より指定の宮城前南側芝生の中央に到着一同謹嚴靜肅御靈柩を奉送し十時大手門外に至り隊伍を解きて各自解散したり当日参列の学生諸氏は千有余名に達せり